

大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム主催

2026 年度第1回共同 SD 研修会実施報告

テーマ	プラットフォーム参加大学等の学生の成長実感に関する分析について
目 的	プラットフォーム参加大学で実施した各種アンケート調査等の結果をもとに、学生の成長実感について分析し、その結果を共有することで、各大学が教育の質向上に資する示唆を得ることを目的とする。
配信期間	2026 年 9 月 10 日(木)～9 月 22 日(火)
開催形式	オンデマンド配信(You Tube 限定公開・申込者のみ視聴可能)
出席人数	123 名(アンケート回答数)
プログラム	・研修会概要について 大学コンソーシアム市川教育活動部会部会長・昭和学院短期大学教授 加藤 智樹 ・報告 IR について 千葉商科大学 教育企画室 課長補佐(IR 担当)丸山 拓馬 - 各校のアンケート分析結果について 千葉商科大学 教育企画室 課長補佐(IR 担当)久保田 亜希子 - 和洋女子大学 IR 室 室長 藤田 直樹 - 昭和学院短期大学 IR 室 長内 恭子 - 環太平洋大学 国際経済経営学部 特任教授 前野 一夫 - 各校の分析検討結果について 千葉商科大学 教育企画室 課長補佐(IR 担当)久保田 亜希子
アンケート結果	「大変参考になった」「参考になった」との回答が 99%であった。 意見や感想は以下のとおり。(一部掲載) ・各大学のデータを比較することで、それぞれの特徴や課題が見えやすくなる点が印象に残りました。今後の教育改善に生かしていく視点として大変参考になりました。 ・学生の「成長実感」の実態とその背景の理解が深まりました。中核的なステークホルダーである学生の満足度の実感は、現在の認証評価においても重要なポイントであり、大変参考になりました。保護者、就職先企業、さらには地域社会が学生の「成長」を実感しているかがさらなる課題であると感じています。 ・各校の分析検討結果より、大学ごとに項目が異なり成長実感の要素は様々あるが、いずれも多くの学生が成長を実感していることがわかりました。

(大学コンソーシアム市川事務局/大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム事務局 作成)

以上